



※高津区地域教育会議のロゴマークの3つのハートは、学校・家庭・地域の連携を表現しています。

◆令和5年度の活動紹介

令和3年度の委員改選期は、コロナ禍のまっただ中で、新メンバーによる委員会の組成が困難でした。

令和5年度の今回は、総会並びに2回の全体会を費やして、従来のような活動に戻していこうと取り組みました。何とか、従来仕様の活動が動き出しそうな感触です。皆さん、頑張りましょうね！

教育を語るつどい 子どもの権利条例をみんなで学びましょう！



令和6年3月10日(日)、高津市民館の大会議室で教育を語るつどいを開催しました。かわさき子どもの権利フォーラムの圓谷雪絵さんを講師に、講義とグループワークで子どもの権利条例を学びました。

2001年に全国で初めて、川崎市で『川崎市子どもの権利に関する条例』が施行されましたが、川崎市では条例を施行するにあたり、子どもと大人が何度も集まり、話し合いを重ねてきました。講師の圓谷さんは、高校生の時に子ども委員として権利条例作りに関わりました。

少人数でのグループワークは楽しかったです。例えば、条例の第27条では「子どもの居場所」をこう定めています。子どもにはありのままの自分であること、休息して自分を取り戻すこと、自由に遊んで活動すること、又は安心して人間関係を作り合うことができる場所。

私は「安心して人間関係を作り合う」というところがすごく好きで、

居場所って場所だけじゃないんだと思っています。

場所そのものも大事ですが、そこにいる人もすごく大事だと思うんですね。

皆さんにとっての居場所はどこですか？

自由に遊んだり活動できる場所。皆さんにとってどんな場所ですか。どんな人がいるからそこが好きなんですか。皆さんで話し合ってください。



プロジェクト委員会のテーマ決まる！

プロジェクト委員会は、既存の委員会が子育てや子どもの教育に偏りがちであったことに鑑み、生涯学習の視点も持って新しい事業も行っていこうという委員会です。

これまで防災や環境問題を取り上げてきましたが、第16期(令和5・6年度)のテーマはSDGsとしました。まずは学びから、その後、子ども会議と連携して実践活動等もできればいいな、と考えています。

まずは知識を得ようと、市役所のSDGs・国際連携推進担当にお願いし、講師を派遣いただけることになりました。どうせならばプロジェクト委員会メンバーだけでなく、地域教育会議の委員全体でお話を聞こうと、令和6年2月8日(木)開催の今年度第2回目の全体会にて講演していただきました。

SDGsとは何か、川崎市の取組、分かりやすくお話いただきました。



川崎市のSDGsの推進について

令和5年度高津区地域教育会議第2回全体会



総務企画局都市政策部SDGs・国際連携担当 両瀬 様

子ども・子育てフェスタに参加

令和5年11月25日(土)、役員を中心に第19回高津区子ども・子育てフェスタ(会場:高津市民館)に参加しました。

コロナにより、昨年は午前・午後それぞれ何組までとの制限付きでしたが、4年振りで制限無しの入場です。来場した親子の表情

も晴れやかな感じがしました。

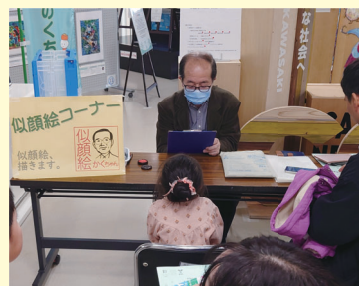
高津区地域教育会議は、「つくってみよう、あそんでみよう」と題し、折り紙細工や水ヨーヨーを配布。また、バルーンアートや似顔絵のコーナーを設置しました。



役員その他中学校区からの委員さんも手伝ってくれました。



器用にリクエストに応え、バルーンを作るのは元副議長



ひとり5分程度でお子さまの似顔絵を描くのは現議長